

## 5・6年用 評価規準

| 観点  | A 知識・技能                               | B プロセスと振り返り  |   | C 数学的コミュニケーション  |
|-----|---------------------------------------|--|---|---|
|     |                                       | B1   | B2  |   |
| 目的  | 数学的概念を理解し、計算などの数学的操作を行うことができる。        | 現実の問題を解決するために、定式化、処理、解釈・評価のプロセスを踏むことができる。                                    | 数学の事象からパターンや性質などを見だし、確かめ、発展させることができる。           | 数学的表現を用いて、積極的に、豊かに他者とコミュニケーションすることができる。   |
| 満点  | 6                                     | 6  |   | 6   |
| 5-6 | 数学的概念を十分に理解し、計算などの数学的操作を十分に行うことができる。  | 現実の問題を数学的に解決可能な問題に直し、適切な数学的処理に基づいて結論を導くことができ<br>解決過程および結論について振り返り、評価することができる | 数学の事象からパターンや性質などを見だし、それが成り立つことを証明し、発展させることができる。 | 正確な数学的表現や記号を効果的に用いることができる。<br>適切な推論を行い、自分の考えをわかりやすく説明することができる。<br>他者の考えに対して、適切な根拠に基づき、自分の意見を述べる事が出来る。 |
| 3-4 | 数学的概念を概ね理解し、計算などの数学的操作を概ね行うことができる。    | 現実の問題を数学的に解決可能な問題に直し、適切な数学的処理に基づいて結論を導くことができる。                               | 数学の事象からパターンや性質などを見だし、それが成り立つことを証明することができる。      | 正確な数学的表現や記号を用いることができる。<br>適切な推論を行い、自分の考えを説明している。<br>他者の考えに対して、自分なりの根拠に基づき、自分の意見を述べる事が出来る。             |
| 1-2 | 数学的概念をある程度理解しており、計算などの数学的操作を行うことができる。 | 現実の問題を数学の問題に直している。   | 数学の事象からパターンや性質などを見だすことができる。                     | 数学的表現や記号を用いている。<br>推論を行い、自分の考えを説明している。<br>他者の考えに対して、自分の意見を述べる。  |
| 0   | 上記以外                                  | 上記以外   | 上記以外  | 上記以外  |